

令和四年五月二十三日 信者心の基勉強会健康編

神 示

「運命」に重なる人の心は 健康そのもの

なれど 真理なき知識を頼って 「生きる」人も多く

人生の支えを持たずに「心」悩む

信者に申す

「教え」に気付きを得て 「真理」に生きる家庭を築く努力をする

自然と 家族の気持ちは一つに重なり

互いに思いを語る会話が増える

運命に重なる心の動きが取れて 病気 事故・災難が消えてゆく

家族一人一人の心は常に安定し 不安に迷う思いは起こらない

なぜ 家族で「教え」を学び

「真理」に生きる努力が必要なのか 分かるかや

運命実体で生きる人間は 「真理」に気付きを得て

「実体」を修正する努力が どうしても必要

この一言「真理」に悟りを深められた人が

「運命」の力に人生を導かれ 「心」守られる

人物との出会いを 感謝心で受け止め 互いの運命が調和してゆく

そこに 「生きる」自信と勇気が芽生え

「運命」に重なる心が 体を健康にする

病気は 心を明るく保つことで 自然と遠ざけることができる